東京　明治十六年十月九日　火曜日　第四百八十七號　日曜日休刊　定價金三錢

公報

○大審院裁判宣渡書

福島縣岩代國耶麻郡米室村
平民富次長男農
宇田英義
明治十六年二月二十八歳

右宇田英義ガ兇徒聚衆被告事件ノ公訴ニ對シ明治十六年二月二十一日福島輕罪裁判所若松支廳ニ於テ裁判シタルノ要點ハ汝（被告）ノ擧動相當官吏ノ調書本部及現場ニ於テ差押タル證據物件等ニ依リ或ハ共犯人ノ供述ヲ參照スレバ赤城平六[illegible]生直七等ガ多衆ノ村民ヲ嘯聚シ宇田成一等ノ勾留セラレタル事由ヲ尋ル等ヲ以テ口實ト爲シ喜多方警察署ニ喧閙シタル際其嘯聚ニ應シ多衆ノ人民ヲ煽動シ之ガ勢ヲ助ケタルモノト認定シ刑法第百卅七條及第六十九條ニ照シ重禁錮二年ニ處シタリ大審院檢事[illegible]ハ右裁判ヲ不法ナリトシ明治十六年九月十九日非常上告ヲ爲タリ其綱領ハ原裁判ハ治罪ノ一大原因ニ違背シ[illegible]ヲ輾轉シテ罪トナラサル事實ヨリ曾テ見ルベキナキノ事實即前段（略之）ノ事實ヲ誤認セシモノニシテ治罪法第四百三十五條ノ法律ニ於テ罰セザル所爲ニ對シ刑ヲ言渡シタルモノナレバ之ヲ破棄シ更ニ至當ノ裁判アルヲ請求ストゴフニ在リ大審院ニ於テ公式ヲ履行シ專任判事ノ報告ニ因リ立會檢事ノ意見ヲ聽キ裁判スルノ理由ハ

原裁判所ガ據テ以テ裁判セシ其確證タル被告ノ擧動トハ乃チ如何ナル擧動ナリシヤ相當官吏ノ調書トハ乃チ調書中何等ノ點ニ係リシモノヤ本部及現場ニ於テ差押ヘタル證據物件トハ乃チ如何ナルモノヤ共犯人ノ供述トハ乃チ如何ナル人ノ如何ナル陳述ナリシヤ其判文中之ヲ示サヾレバ之ヲ知ルニ由ナキノミナラズ一件書類中ニ徵照シテ亦斯ク認知シ得ベキモノアルナシ要スルニ被告ノ所爲ハ道路開鑿不服ノ出訴事件ニ干渉セシ事實ハ明白ナルモ明治十五年十一月廿八日人民ガ喜多方警察署ヘ喧閙セシ擧動ニ何等關與セシ證跡アルヲ見出サヾルナリ此事實ハ法律ニ於テ罰スベキノ所爲ニ非ルニ原裁判所ガ之ヲ刑法第百三十七條ニ問ヒ重禁錮ノ刑ニ處斷シタルハ治罪法第四百三十五條ノ所謂法律ニ於テ罰セザルノ所爲ニ對シ刑ヲ言渡シタルモノトス因テ同條第二項ニ據リ原裁判ヲ破棄シ大審院ニ於テ直ニ裁判スル左ノ如シ

判決

前條理由ノ如ク宇田英義ガ被告事件ハ法律ノ罰スベキモノニ非ズ即チ治罪法第三百五十八條ニ法リ無罪直ニ放免ス

大審院ニ於テ檢事澄川拙三立會宣告ス

明治十六年十月五日

裁判長判事　岡内重俊
判事　關義臣
判事　武久昌孚
判事　島谷千里
判事　小林壽太郎

時事新報

金融ノ變動米價ノ下落

明治十六年度我日本政府ノ歳出入豫算表ニ依ルニ歳入ノ總計ハ七千五百六十万圓ナリ此内重立タルモノハ第一地租ノ四千三百万圓第二酒造税千六百七十万圓ニシテ此二項ヲ除クノ外ハ海關税ノ二百六十万圓郵便税ノ二百二十五万圓會社税ノ百二十七万圓工部省鐵道益金ノ百十六万[illegible]等ノ諸收入ニ[illegible]ルモノトス今地租酒造税ノ二項ヲ合計スルモ[illegible]五千九百七十万圓即チ政府歳總入ノ十分ノ七分九厘餘ニ相當セリ日本政府ハ地租ト酒造税トヲ以テ維持スルモノト云フベキナリ抑モ租税ノ集散ハ一國ノ理財ニ影響スル所決シテ少ナカラズ徵收ノ金額巨大ニシテ其期限亦甚ダ急迫ナラメカ忽チ全國各業ノ理財上ニ不幸ナル變動ヲ來タサヾルヲ得ズ殊ニ銀行等ノ仕組十分ナラザル國ニ於テハ此變動ハ不幸ナシテ一層甚烈ノ点ニ達セシムルコトヲ免カレザルナリ今日本政府歳入ノ七分九厘ニ當ル地租酒造税ノ兩項五千九百七十万圓ヲ徵收スルノ期限ヲ見ルニ現行ノ法左ノ如シ

地租徵收期限

一期	[illegible]七月一日ヨリ八月卅一日限	畑方及ヒ宅地原野等	五分
二期	同九月一日ヨリ同十月卅一日限	同	五分
三期	同十一月一日ヨリ同十二月十五日限	田方	五分
四期	翌年一月一日ヨリ同二月廿八日限	同	五分

酒造税徵收期限

酒造免許税

酒造免許ハ毎年九月三十日マデニ管廳ニ願出テ免許税ハ免許鑑札ヲ申受タル時ニ納ム

酒類造石税

第一期	十月一日ヨリ三月卅一日マデ檢査濟石數ニ係ル税額ノ半數	四月三十日限
第二期	四月一日ヨリ六月三十日マデ檢査濟石數ニ係ル税額ノ半數	七月卅一日限
第三期	七月一日ヨリ皆造檢査濟石數ニ係ル税額並ニ前納額ノ殘數	九月三十日限

然ルニ地租中ニテ最モ重立チタルモノハ田方税ニシテ其金額三千零七十万圓酒造税中ニテ最モ重立チタルモノハ造石税ニシテ其金額千五百六十万圓ナリ蓋シ酒造ハ冬期ノモノニシテ速ニ釀造シテ速ニ賣出シ勤メテ梅雨ノ候保存ノ爲メ火ヲ入ル丶ノ費用ヲ避ケントスルハ酒造家ガ常ニ服膺スル所ノ訓戒ナルガ故ニ其檢査濟石數ノ如キモ十月一日ヨリ翌年三月卅一日マデノモノ即チ納税第一期四月卅日限リニ税額ノ半數ヲ納ムベキモノ居多ナルベキヤ疑ヲ容レザルナリ是ニ由テ之ヲ觀ルニ秋冷ヨリ冬季ヲ通シ春寒ノ時ニ至ルマデハ日本政府ノ歳入最モ饒多ノ折ニシテ單ニ地租造酒税ノ二種ノミニ付テ見ルモ十一月一日ヨリ翌年四月三十日マデニ徵收スベキモノ既ニ四千万圓ニ近シコレニ他ノ一般ノ租税ヲ加フレバ其額頗ル巨大ナルベク政府ノ收税事務ハ其七八分ヲ此時期ノ間ニ終ルモノト云フモ恐ラクハ其實ヲ失ハザルベシ我輩ノ聞ク處ニ依レバ大藏省ニテ出納ノ[illegible]ハ夏期[illegible]ノ頃ニ在テ[illegible]信用[illegible]政府期ニ在リシトカ云ヘリ果シテ然ラバ通貨[illegible]夏季ハ民間ニ散シ[illegible]政府ニ[illegible]冬季ハ政府[illegible]其[illegible]甚ダ偏スル所アリト云フベキナリ政府ニシテ若シ[illegible]間ノ苦ヲ知ラント欲セバコレヲ遠キニ求ムルニ及[illegible]家夏季ノ苦惱ハ即チ民間冬季ノ苦惱ナリト知ルベ[illegible]政府ノ苦惱ハコレヲ慰スルニ其法アリトカ聞ク民[illegible]惱ハ寒ニ饑ニ霜雪ノ中ニ號泣シ天ヲ仰ギテ空シク[illegible]夏來ルヲ待ツノ外ニ工夫ナキナリ

今我國ニテ冬季民間ノ金融逼迫ノ際ニ當リ其苦ヲ[illegible]コノ最モ深酷ナルモノハ農民ナリトス前段ニ記ス[illegible]國田方税ノ總額ハ三千〇七十万圓ニシテ其五分即[illegible]百万圓ハ十一月一日ヨリ十二月十五日迄四十五日[illegible]納シ殘リ五分千五百万圓ハ一月一日ヨリ二月廿八[illegible]十九日間ニ皆納セザルヲ得ズ農民ハ此租税ニ充ツ[illegible]錢ノ用意ナキガ故ニ納税期ノ迫マルニ從ヒ先ツ其[illegible]米ヲ賣拂ヒテコレヲ調ヘザルヲ得ズ米一石ヲ五圓[illegible]スルキハ田方税ノ總額ヲ得ントスルニハ六百万石[illegible]ヲ賣拂ハザルヲ得ズ新穀正ニ實リ舊穀尚ホ未ダ盡[illegible]刻左ナキダニ米價ノ下落ハ避クベカラザル事ナル[illegible]忽チ年内師走十五日ヲ期シテ一時ニ三百万石ノ米[illegible]ニ出シ又新年早々五十餘日間ヲ期シテ更ニ又三百[illegible]市場ニ出ス需用多キヲ加ヘズシテ供給餘リアリ全[illegible]價ハ下落セザラント欲スルモ下落セザルヲ得ザル[illegible]民トテ善價ヲ俟テ沽ランコトヲ欲セザルニアラズ前[illegible]ノ冥濛タルヲ望ニ見テ時機ノ好カラザルヲ知ラザ[illegible]ラズト雖ドモ如何セン納税ノ期限背後ヨリ追跡シ來[illegible]其臂ヲ伸ベテ我後髮ヲ攫マントス乃チ前頭仮令火[illegible]降ルアルモ衝テコレニ入ラザルヲ得ズ進マンカ米價[illegible]落前ニ在リ退カンカ納税ノ期限後ニ在リ農民ノ進退[illegible]ニ茲ニ谷ルナリ然レドモ茲ニ谷ルト云テ止ムベキナ[illegible]唯價ヲ擇ハズシテ其米ヲ賣リ國民ノ義務ヲ盡スノ[illegible]ルノミ其艱苦想フベキナリ

（以下次號）

雜報

○行幸御延引　聖上にハ昨日吹上禁苑へ行幸在せら[illegible]れ筈の處天氣都合にて御延引、更に明日午前九時[illegible]御出門にて同苑へ行幸あらせらるべき旨仰出され[illegible]

○拜謁　去る六日歸京せし伊藤、大山の兩參議幷に[illegible]寺參事院議官補にハ昨日太政官へ出頭し夫より御[illegible]され拜謁の上茶菓等を賜はりしよし

○清佛の關係　巴里府支那公使館の一官が明言する[illegible]由れバ支那は從來の如く安南に對するの主權を維[illegible]目的にて決して名義上の空主權に甘んぜず既に曾公[illegible]支那政府の意見を佛政府に申出されたれ共未だ佛政府[illegible]答を得ざるに又佛國政府にても支那政府の申出で[illegible]するため九月十日內閣會議を催ふしたる由あれ共[illegible]決議の次第を[illegible]月十二日の[illegible]ナシコナ[illegible]